

第3回
みどりの風フォーラム
～大阪のみどりは如何にあるべきか～

平成27年3月2日(月)

大丸心齋橋劇場
(大阪府中央区心齋橋筋 1-7-1)

午後1時30分～5時30分

13:30～13:35	開会あいさつ
13:35～14:45	基調講演 「大都市のみどりの現状と課題」 石川 幹子 (中央大学教授)
15:00～15:45	報告① 「大阪都市計画におけるみどりの系譜」 嘉名 光市 (大阪市立大学准教授)
15:45～16:30	報告② 「今後の大阪のみどりについて」 武田 重昭 (大阪府立大学助教)
16:45～17:15	ディスカッション 石川 幹子 (中央大学教授) 嘉名 光市 (大阪市立大学准教授) 武田 重昭 (大阪府立大学助教)
17:15～17:30	質疑応答
17:30	閉会

第3回みどりの風フォーラム 開催趣旨

近年世界各国の都市で、緑化推進の取り組みが活発に見られる。日本でも、首都東京をはじめ、地方都市においても緑化推進の取り組みがさかんに見られ、風格のある都市の形成にみどりは大きな役割を果たしている。一方で、大阪は東京をはじめとした他の都市と比較すると、街中のみどりは少ない。

かつて、大阪では、大正・昭和初期にかけて、御堂筋の建設、大阪緑地計画など当時としては先進的な取組がなされてきた。今日では、御堂筋は季節により表情を変える大阪のシンボルロードとして、大阪緑地計画は、服部・鶴見・久宝寺・大泉の大阪の4大緑地や中環の森として受け継がれ、大阪のみどりの骨格・資産となっている。

本フォーラムでは、都市におけるみどりの重要性を再認識し、これまでの大阪の緑化の取り組みを振り返り、「今後、何をなすべきか(長期的展望)」を議論し、大阪の緑化の今後の方向性について議論することをテーマとする。

 公益財団法人
国際花と緑の博覧会記念協会

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-136
TEL 06-6915-4513 FAX 06-6915-4524

主催：公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
協力：毎日新聞大阪本社
後援：農林水産省、国土交通省、大阪府、大阪市

みどりの風フォーラム

～大阪のみどりは如何にあるべきか～

講師プロフィール

◆基調講演およびディスカッションコーディネーター



石川 幹子

(いしかわ みきこ)

中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授
専門：都市環境計画、環境デザイン

[学歴]	1972年	東京大学農学部卒業
	1976年	ハーバード大学デザイン学部大学院修了
	1994年	東京大学大学院農学系研究科博士課程修了
[職歴]	1997年～1999年	工学院大学旧工学部建築学科特別専任教授
	1999年～2007年	慶應義塾大学環境情報学部教授
	2006年	ハーバード大学デザイン学部大学院客員教授
	2007年	東京大学大学院工学系研究科・工学部都市工学科教授
	2013年	中央大学理工学部人間総合理工学科教授・学科長

[主な著書]

『都市と緑地』(岩波書店)、『流域圏プランニングの時代』(技報堂)、
『21世紀の都市を考える』(東京大学出版会)など

みどりの学術賞、都市公園コンクール国土交通大臣賞、緑の都市賞：内閣総理大臣賞、国際ランドスケープデザイン競技設計第1位、日本都市計画学会論文賞など、デザインと計画の両輪で世界的に活躍するランドスケープアーキテクトのひとり。

大学教員の傍ら、大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会委員、宮城県震災復興会議委員、宮城県岩沼市震災復興会議議長を歴任。現在も川崎市環境審議会委員、東京都自然環境保全審議会委員等を務める。

講師プロフィール

◆報告およびディスカッションパネラー



嘉名 光市

(かな こういち)

大阪市立大学大学院 工学研究科都市系専攻 准教授
専門：都市計画、都市デザイン

大阪府生まれ。1992年東京工業大学工学部社会工学科卒業。2001年東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了。株式会社三和総合研究所、株式会社UFJ総合研究所を経て、2003年大阪市立大学大学院工学研究科講師。2006年同助教授。2007年より現職。大阪、神戸など京阪神を中心として都市の再生に向けた都市デザイン、空間論に取り組む。現在、大阪府・大阪市特別参与、大阪市都市計画審議会委員、水都大阪パートナーズアドバイザー、大阪市生きた建築ミュージアム推進有識者会議委員などを務める。主な著作に『コンパクト建築設計資料集 都市再生』(丸善)、『景観再考』(鹿島出版会)、『URP GCOE DOCUMENT 13:船場アートカフェ2 2008年4月～2012年』(大阪市立大学都市研究プラザ)など(いずれも共著)。



武田 重昭

(たけだ しげあき)

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 助教
専門：緑化計画、ランドスケープ・マネジメント

神戸市生まれ。1998年大阪府立大学農学部地域環境科学科卒業。2011年大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士課程修了。2001年より独立行政法人都市再生機構にて団地屋外空間の計画・設計や都市再生における景観・環境施策のプロデュースに携わった後、2009年より兵庫県立人と自然の博物館にて将来ビジョンの策定や生涯学習プログラムの企画運営を実践する。2013年より現職である大阪府立大学大学院生命環境科学研究科助教。現在、高槻市安満遺跡公園市民活動プロジェクトアドバイザーなどを務める。主な著書に『シビックプライド：都市のコミュニケーションをデザインする』(宣伝会議)『いま、都市をつくる仕事：未来を拓くもうひとつの関わり方』(学芸出版社)など(いずれも共著)。